

登米高等学校

校訓 誠実 勤勉 進取



1 基本データ

創立：大正9年
課程・学科：全日制課程・普通科
生徒数：148名
所在地：〒987-0702
登米市登米町寺池桜小路3
TEL：0220-52-2670
FAX：0220-52-2671

ホームページアドレス：
<https://tome-h.myswan.ed.jp/>
電子メールアドレス：
tome-h@od.myswan.ed.jp
主な交通機関：
JR気仙沼線柳津駅より登米市市民バス津山線
「登米総合支所」下車 徒歩5分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

to me

地域を支える人材育成のため、登米高校は良き伝統を継承して、新たな歴史の創造へと動き出しました。

夢実現のため、登米生は、授業や部活動、生徒会活動に全力で取り組んでいます。

登米高校は、頑張るみんなをあらゆる面で全力で応援します。

ここは、みんなが夢を叶えることができる高校です。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

登米高校は、登米伊達氏2万1千石の城下町「みやぎの明治村」として名高い登米市登米町にあります。創立は大正9年4月、登米町立登米実科高等女学校として誕生しました。昭和2年、県への移管で宮城県立登米高等女学校と校名を改め、昭和23年の学制改革に伴い、宮城県登米高等学校に改称しました。翌昭和24年には男女共学校となり、昭和45年に商業科が設置され、商業科を併設する普通高校として40年以上地域に親しまれてきました。地域内の高校再編統合により平成29年3月に商業科が閉科となり、平成29年度には普通科のみの高校となりました。令和2年度に創立100周年を迎え、令和3年10月に記念式典が行われました。

(2) 教育方針

- 確かな学力を身に付け、生徒の志望を達成させる教育
- 社会人として自立できる人間づくり
- 生徒・保護者・地域とともに歩み、信頼される学校づくり

(3) 教育課程の特色

令和4年度からの新教育課程は、これまでと同様に、基礎・基本をおさえ、社会人としての自立と多様な希望進路を実現するための学力の定着を目指しています。

1年生では進路探究を行いながら各教科をバランス良く学習し、2年生からは進路探究を更に深め、希望進路、適性、興味・関心などに応じた科目選択が行えるようになっていきます。

1年生で自分の進路への知見を広げ、2年生でそれを更に深めながら、希望進路に向けた学習を行います。そして3年生では、国公立・私立大学、専門学校・各種学校への進学から民間就職、公務員といったそれぞれの進路希望に向けた多様な科目選択を行い、進路達成を目指します。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

<主な行事>

- 4月：入学式、対面式、実力テスト
- 5月：生徒総会
- 6月：第1回考査
- 7月：芸術鑑賞会、体育大会
- 9月：登高祭、第2回考査、生徒会役員選挙
- 10月：生徒総会
- 11月：第3回考査
- 12月：インターンシップ(1学年)、修学旅行(2学年)
- 1月：新春百人一首カルタ会
- 2月：第4回考査
- 3月：卒業式

<生徒会活動・部活動>

生徒会活動では、生徒会役員が中心となり実行委員と協力して、登高祭(文化祭)などの各行事を自主的に企画・実行しています。また、学校の伝統を守り続けながらも時代に沿った校則改定に取り組むなど、活発に活動が行われています。

伝統的に部活動は、運動部・文化部ともに盛んに活動しています。

運動部では、カヌー部や陸上競技部が昨年度も各大会・各種目で入賞をし、目覚ましい活躍を見せています。

文化部では、美術・写真部が県高校美術展をはじめ、各種美術展、写真展に出展しています。また、吹奏楽部が、定期演奏会や各種地域イベントへの参加により活発に活動し、総合文化部ボランティア班は近隣の施設を訪問してボランティア活動を活発に行っています。

部活動以外では、読書活動が盛んで、朝のSHR前の朝読書は21年目を迎え、読書活動優秀実践校として全国表彰されています。地域の小中学校との交流も盛んで、近隣の小学校や保育園での絵本の「読み聞かせ」や、運動部による小学生の指導・中学生との交流などを積極的に行っています。また令和元年度は、台湾からの修学旅行生を受け入れ、郷土料理であるはっと汁の調理・試食や、体育の授業を合同で行うなどし、異文化交流にも力を入れました。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R5	R4	R3
大学	16	25	34
短期大学	6	14	15
専各学校	35	51	23
就職(県内)	36	15	24
就職(県外)	3	1	1
その他	1	1	1
卒業生計	97	107	98

主な進路先(令和6年3月卒業生)

()内は人数、(I)は省略

<大学>

東北学院大学(3)、東北福祉大学(3)、宮城学院女子大学、東北文化学園大学(3)、石巻専修大学(2)、東北芸術工科大学、東京福祉大学、埼玉学園大学、流通経済大学

<短期大学等>

仙台赤門短期大学、聖和学園短期大学(2)、仙台青葉学院短期大学(2)、宮城誠真短期大学

<専修各種学校>

石巻赤十字看護専門学校、仙台医師会看護専門学校、山形厚生看護専門学校、葵会看護専門学校、水沢学苑看護専門学校、岩手県立一関高等看護学院、国際医療福祉専門学校一関校、仙台ECO動物海洋専門学校、仙台医健スポーツ専門学校(2)、仙台工科専門学校、仙台こども専門学校(2)、仙台総合ペット専門学校(2)、仙台ビューティーアート専門学校、仙台保健福祉専門学校、仙台幼児保育専門学校(3)、仙台リゾート・スポーツ専門学校(4)、東京ITプログラミング&会計専門学校仙台校、東京法律公務員専門学校仙台校(4)、仙台医療秘書福祉専門学校、気仙沼リアス調理製菓専門学校、東京バイオテクノロジー専門学校、他

<就職>

国家一般職(2)、登米市職員(7)、自衛隊一般曹候補生、(株)ツルハ(3)、日本郵便(株)、トヨタ自動車東日本(株)、(株)サンデリカ仙台第一事務所、(株)ホテル松島大観荘(2)、医療法人社団清明会二宮歯科医院、YKK AP(株)、北上電設工業(株)、東京発條(株)宮城工場(2)、(株)登米村田製作所、エスピー食品(株)宮城工場、三光化成(株)宮城工場、スタンレー宮城製作所、迫りコー(株)、(株)ウジエスーパー、(株)北宮城自動車学校、(有)さくら、トライデントオサペフーズ(株)、社会福祉法人清山会、他

3 学校魅力発信

(1) 本校生徒の活躍

カヌー部 目指せ！連続インターハイ出場！

カヌー部は、女子3名・男子5名の計8名で活動しています。登米高校カヌー部は、全員高校から始めた初心者ですが、毎年全国規模の大会に出場する選手を輩出しています。新しいことを始めたいなら、まずはカヌー部へ！ 私たちと一緒に、全国の舞台上で活躍してみませんか？



塚本 来愛さん（中田中出身）からのコメント
今年度の目標は、男子「東北総体出場」、女子「インターハイ出場」です。男女ともに掲げた目標を達成できるように、日々練習に励んでいます。6月には、県総体と東北総体が開催されるので、練習の成果を発揮できるように頑張ります。応援よろしくお願いします。

吹奏楽部 みんなに届け！登米高サウンド！



本校吹奏楽部は地域に密着した活動を行っています。中高連携での合同練習や、地域のお祭り等における依頼演奏など、音楽の力で地元を元気にしたいという思いを持って日々活動しています。

山内 琉衣さん（中田中出身）からのコメント
現在、登米高校吹奏楽部は1年生2名、2年生5名の計7名で活動しています。地域・学校行事での演奏、定期演奏会、夏の吹奏楽コンクール、冬のアンサンブルコンテスト等に向け、日々練習をしています。少人数のため大変なことも多いですが、足りない部分を皆で補いながら良い音楽を届けられるように頑張っています。明るく元気のいい生徒が多く、毎日楽しく活動しています。是非、私たちと一緒に音楽を楽しみましょう！

(2) 学校行事

体育大会

例年7月に、体育大会が行われます。学年クラス対抗で競い合い、クラス内だけでなく、学校全体の絆を深め合います。



昨年度は、1日目にバレーボール・バスケットボール・卓球、2日目にドッチボール・障害物競走・綱引きを行いました。

登高祭（文化祭）

例年9月上旬に文化祭を行っています。昨年度は、テーマを「とりま 楽しむZ世代 ～青春を取り戻せ！～」とし、1日目に校内発表、2日目に一般公開を行いました。



吹奏楽部や軽音楽部の演奏、実行委員・生徒会など各団体による発表、PTAの方々によるバザー出店、風見鶏歴史資料室の一般公開など、見所満載の文化祭となりました。

新春百人一首カルタ会

毎年1月に、図書館会場で1・2年生のクラス代表生徒と希望者の参加による百人一首かるた会が行われています。くじ引きで4人が1テーブルを囲み、チラス取りで競技します。昨年度は4年ぶりの平常開催で、企画担当の図書委員が運営にあたり、伝統のカルタ会を成功させました。



(3) 学校制服紹介

「登米高生としての自信と誇りが持てる制服」をコンセプトにした、歴史と伝統のある登米の町並みになじむオリジナル詰め襟とブレザーです。令和4年度より、女子用スラックスも導入されました。



(4) 施設紹介



↑上は令和3年に改修工事を終えた体育館です。バスケットボールのゴールの出し入れが全て電動になり、バドミントンのコートが8面とれるなど、充実した設備が整っています。



↑上の音楽ホールは、学年集会や講話、吹奏楽部や軽音楽部の活動などで使用されています。

→右の風見鶏歴史資料室には、登米高設立時や、それ以前からの歴史を偲ぶことができる貴重な資料が展示されています。令和4年度から、文化祭で一般にも公開されています。



4 在校生からのメッセージ

畑山 優大さん（中田中出身）からメッセージ

登米高校は、大正時代から今にかけて、先輩方や先生方が創り上げてきたすばらしい学校です。

生活面では、生徒一人一人が、挨拶や礼儀を大切にしたり、正しい身だしなみに気を配ったりしながら生活しています。さらに、生徒会の活動も活発で、日々学校を良くしようとみんなで話し合います。

進路指導に関しては、学校の先生が親身になって話を聞けることに加え、「進路を考える日」では外部の講師の先生にも多くの助言をもらえます。私たちと楽しい高校生活を送りましょう。



猪股 愛里さん（登米中出身）からメッセージ

登米高校は、創立100周年を迎えた歴史ある学校です。地域との関わりが深く、あいさつ運動を活発に行っています。学校行事や部活動では、生徒一人一人が主体的に取り組み日々目標に向けて頑張っています。

これからの進路について迷っている人でも先生方が親身になって相談に乗ってくれます。自分に合った進学や就職先を見つけ、一緒に充実した学校生活を送りましょう。

